奈良教育大学広報誌

Nara University of Education
SPRING 2010

なにわ

教育実習の日々

特集

新入生必見！
大学フル活用のススメ

女子プロ野球選手誕生！
奈良県立図書情報館

春
2010
【学長コラム】
卒業生・新入生へのメッセージ
学長 長友 僖人

卒業生・新入生へのメッセージ

今年は西暦2020年、昭和45年から21年、平成30年から29年、令和1年から令和2年、昭和40年から昭和41年、平成39年から平成40年、令和2年から令和3年、昭和40年から昭和41年、平成39年から平成40年、令和2年から令和3年、昭和40年から昭和41年、平成39年から平成40年、令和2年から令和3年で、卒業生と新入生へメッセージを送ります。

卒業生に
卒業生が次に進む先へと、新しい人生を歩むことをサポートします。卒業生の皆さん、今後も学びの旅を続けてください。

新入生に
新入生が入校し、新しい学びを始めるときに、サポートします。新入生の皆さん、新しい学びを楽しみにください。

卒業生・新入生へのメッセージ

卒業生と新入生が、新しい人生を歩み、新しい学びを楽しみに、今後も学びの旅を続けてください。
教育実習 初日

キーワードは「ねらい」
子どもを思う情熱を胸に、
教職の原点がここにあった。

教育実習生の一日
実習を終えて

反省会

実習生たちは、毎日のように行動計画を
変更する（反省会）を行っていた。

この反省会で、実習生たちが、どのように
進捗を追い求めたのかを話し合った。

実習生たちは、日々の進捗を振り返って
考えた。その中で、次回の実習生に対して
何を教えるべきか、また今後の実習の
進め方について考えた。

反省会では、毎日のように行動計画を
変更する（反省会）を行っていた。

この反省会で、実習生たちが、どのように
進捗を追い求めたのかを話し合った。

実習生たちは、日々の進捗を振り返って
考えた。その中で、次回の実習生に対して
何を教えるべきか、また今後の実習の
進め方について考えた。

反省会では、毎日のように行動計画を
変更する（反省会）を行っていた。

この反省会で、実習生たちが、どのように
進捗を追い求めたのかを話し合った。

実習生たちは、日々の進捗を振り返って
考えた。その中で、次回の実習生に対して
何を教えるべきか、また今後の実習の
進め方について考えた。
教育の歴史を振り返るなら
学術情報研究センター教育資料館

パソコンやインターネットを利用するなら
学術情報研究センター 情報館

将来の進路を考え始めたら
就職支援室 キャリアサロン

ボランティア活動を始めるなら
ボランティア支援総合センター

論文・レポートの資料集めをするなら
学術情報研究センター 図書館

奈良教育大学には、講義を行う授業だけでなく、有志がキャンパスライフをサポートするための施設、設備があります。
さあ、あなたも奈良教育大学を手にしてフル活用してみましょう！
大学の取り組み

教員への確かな学びを支える

教職実践演習」と「履修記録」

基盤の実践科目「教職実践演習」

経験をもとに、教員の教職活動に対する理解を深めることを目指しています。特に、履修記録においては、教員の教職活動の実践を通じて、教職実践演習の内容を学び、それを実践することを支援します。

新任教員への支援策

教職実践演習では、教育活動の実践を通じて、教員の教職活動に対する理解を深めることを目指しています。特に、履修記録においては、教員の教職活動の実践を通じて、教職実践演習の内容を学び、それを実践することを支援します。

履修記録の作成

履修記録の作成においては、教員の教職活動に対する理解を深めることを目指しています。特に、教職実践演習においては、教員の教職活動に対する理解を深めることを目指しています。履修記録の作成においては、教員の教職活動に対する理解を深めることを目指しています。
留学生レポート

日本とトルクメニスタン

日本語日本文化研究所
（アリシェル・エゲンベルディエフ）

from Turkmenistan
キャンパスより
女子プロ野球選手誕生へ!!

野々村聡子
教育学部 専攻教育文化課程

久保田翔子
女子プロ野球クラブ副会長

これからも応援していただけますと幸いです。

インタビュー

「ストレスを感じる時、何か音楽を聴くとリラックスできる。音楽に身を任せて、その音楽に包まれて一時的にリフレッシュすることが大切。」

音楽が心の休息をもたらす。これは音楽の力で自分をリフレッシュすることを意味する。音楽に身を任せて、一時的にリフレッシュすることを心に留めておきたい。

今後は、何故か音楽に身を任せてリフレッシュすることが大切になる。音楽に身を任せて、一時的にリフレッシュすることを心に留めておきたい。
最終回
大学の仲間たち
（拡大号）

自然環境教育センター長
前田喜四雄

1995年春号から連載されてきた『大学の仲間たち』。執筆者である、本学自然環境教育センター長・前田喜四雄教授がこの春に定年退職されることから、今号で最終回となりました。
そこで今回は、前田センター長に「大学の仲間たち」への思いや、自然への思い、学生たちへの思いを伺いました。

創刊からの「仲間たち」1995〜2009

（春）ヤモリ（幼体）
（春）フクロウ
（春）ベニシジミ
（春）スギクロシロチョウ
（春）ウグイス
（春）タネキ
（春）ジャコウアゲハ
（春）アゲハチョウ
（春）アザミイチモンジョ
（春）クルコノマチョウ
（春）モンキアゲハ
（春）チョウトンボ
（春）アカアゲハ
（春）カンブツ
（春）ウロサピアガガ（ウズギハメドリ）
（春）ワックマチョウ
（春）チャキマグダ
（春）イチモンゼリ
（春）コハナバネセリ
（春）ヒメウラシミシャメ

22
仲間たち

奈良に息づく
自然環境教育センター

鈴木春己

シカ

シカは、ロシア沿岸州から中国、ベトナム、台湾などに自然分布し、スコットランドなど世界各地で、遊出した原形個体が野生化している。

日本本土に棲息し、北に棲息するほど体が大きい。奈良公園のシカは中型で、雌は40kg程度だが、雄は時に90kgを超えることもある。奈良公園のシカは天然記念物として保護されている。現在では千二百頭を数えている。

しかし、シバや森林など彼女の棲息環境は闘争体とも思われているとは思わないと。そのため、初産年齢が周辺地域と比べ一頭年遅れている。出産間隔が長く、生涯出産数も少ないという。また、保護のため長生きでもある。これらの状況はまさに日本人と同様で、高齢社会の兆しである。

かなは、個体数は減少すること、個体数は増えること、個体数は復帰してくるはずである。

自然環境教育センター http://www.nara-edu.ac.jp/ECNE/

奈良教育大学 広報誌
第33号 平成22年2月26日 編集/広報・情報公開委員会 発行/国立大学法人奈良教育大学
〒630-8528 奈良市高畑町 TEL.0742-27-9104 FAX.0742-27-9141
http://www.nara-edu.ac.jp/

企画・広報室までご意見・ご感想をお寄せ下さい。
お寄せいただいた方の中から抽選で「かにっけんスタッフ」を差し上げます。
【奈良教育大学 企画・広報室】kikaku-kouhou@nara-edu.ac.jp

かにっけん'S CLUB
スタッフ募集のお知らせ
広報誌作りなど、広報活動をしてくれる学生広報スタッフを募集しています。興味のある方は企画・広報室まで、お気軽にお問い合わせ下さい。